

Hanamizuki
はなみずきだより

◆特集 一生に一度は行きたい旅

讃岐の国、琴平に春を告げる！「四国こんぴら歌舞伎大芝居」

◆「はなみずき会 春の講演会」

この春会えるゲストはこの人！

鳥越俊太郎さん（ジャーナリスト）

◆「はなみずき会 ひな祭りパーティー」

ニューヨークで活動中の鬼塚正男さんのジャズギターライブで、
ちょっと贅沢な大人の時間を！



花人／鳥津賢一さん
（花材／葉の花、コデマリソウ、椿）

Present

はなみずきだより vol.72 プレゼント



プレゼント応募方法

ハガキに会員番号、〒住所、氏名、希望のプレゼント番号、会報誌「はなみずきだより」の印象、良かった記事、おもしろくなかった記事、はなみずき会に関する意見を記入してください。締め切りは3月11日(金)必着。当選者の発表は発送をもって代えます。

〒810-8585 西日本リビング新聞社
「はなみずきだよりプレゼント」係

2九州新幹線全線開業記念

TVQ九州放送開局 20周年記念

日独交流 150周年記念

ハンブルク浮世絵コレクション展

ペア
5組

ドイツ第二の都市ハンブルクの「ハンブルク美術工芸博物館」から、世界的な浮世絵コレクションが里帰り！

実に5,000点を超える同館所蔵の浮世絵コレクションの中から、そのほとんどが初公開となる選りすぐりの約200点が展示されます。鈴木春信、喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重ら人気絵師たちの作品をはじめ、個人的な贈答などのために贅をこらして制作された稀少な摺物の数々など、浮世絵の美を堪能できます。



© MKG Hamburg

- 会期 3月17日(木)～5月8日(日)
- 開館時間 9:30～17:30
- 会場 福岡市美術館(福岡市中央区大濠公園)
- 入場料 一般1300円(1100円)、高大生800円(600円)、小中生500円(300円)
- ※()内は前売り

1憧れのクラシックホテル「雲仙観光ホテル」でゆっくりと…1dayリゾートプラン

ペア
2組

日々の忙しさから抜け出し、緑に囲まれた雲仙天草国立公園にあるクラシックホテル「雲仙観光ホテル」でゆっくり過ごしませんか？ホテルの客室利用とダイニングでの昼・夕食がついた「1dayリゾートプラン」のプレゼントです。自慢の温泉浴室や映画室、撞球室の利用もOK。贅沢なホテルでの宿泊気分を堪能できますよ



- 利用日 3月16日～6月15日の平日・休日限定(要予約) ※土曜日、4月28日～5月8日除く
- 利用時間 12:00～21:00
(スタンダードツイン、トリプル利用)
- 料金 1万5000円(税込込み、0泊屋夕食付き)
※JR早駅まで送迎あり
- 雲仙観光ホテル 長崎県雲仙市小浜町雲仙320
☎0957-73-3263



3鹿児島県喜界島の特産品

黒糖焼酎「喜界島」と「クレオパトラ」の2本入り

3人



日本の中でも、鹿児島県の奄美大島群島と呼ばれる島々の蔵元でしか、製造認可されていない、珍しい黒糖焼酎。`くろちゅう`の名で親しまれ、のどごしがまろやかでほんのりとした甘味が特徴です。黒糖の味、香りを前面に出しコクのある`喜界島`、(900ml・25度)と、伝統の技で仕上げ、じっくりと時を重ねた熟成タイプの`クレオパトラ`、(720ml・28度)の2本をセットにして、3人にプレゼントします。

■喜界島酒造(株) 鹿児島県大島郡喜界町赤連 2966-12 ☎0997(65)0251

事務局より

▶今年の冬は寒かった！12月後半からガクンと気温が落ち、1月は震災あがるほど。巷で風邪やインフルエンザが蔓延する中、イベント部メンバーは「ここで風邪をひいたら、参加者にうつっちゃう」と防衛に励みました。ある者は、夏バテ予防から続けている`梅干しを漬したお茶`、を飲み続け、ある者は`ショウガ紅茶`、を試すetc。そして体調が悪くなったら早寝・早起き！なんとかみんな冬を乗り越えられそうです。

▶梅は咲いたか～、桜はまだかいな♪2月も終わり、もうすぐ3月です。今年、桜の開花はどうなるのでしょうか？企画を立てる身としては、毎度やきもきしますが、こちらの気も知らず花はいつしか美しく咲いてくれます。菜の花、モクレン、桜、山吹、レンゲ草…。花を追いかけるツアーがいよいよ本格的にスタートします。

日々是素敵

- ◆ 現代アーティストの作品を楽しむことが若い人たちの間で静かなブームになっているそうです。その火付け役になったと言われている映画が、アートコレクター夫妻のドキュメンタリー「ハープ&ドロシー」。
- ◆ 夫のハープは郵便局長、妻のドロシーは図書館司書。マンハッタンでの1LDKに住むごくごく普通の夫婦の楽しみは、現代アートの収集。30年以上にわたり現代のアーティストの作品を買い続けるその数は4000点以上ですが、彼らは決して手放しません。投資ではなく、純粋に趣味として集めているからです。
- ◆ アートコレクションと言えば、お金持ちの世界の話で、われわれ庶民には関係ない

と思われる中で、このお話はちょっと素敵。彼らのコレクションのやり方は、画廊ではなく必ずアーティストの仕事場に出かけて、気に入ったらすべての作品を観て「これを買う」と決めます。彼らの審美眼は素晴らしく、買った当時は名もなかった作家が、今や有名なアーティストになったりして、作品の値段は相当なものとなっていますが、2人は変わらず小さなアパートに住み続けます。そして1992年に、永久保存が保証され、無料で観ることができるワシントンのナショナル・ギャラリーに全コレクションを寄贈します。自分の給料で買える作品を手に入れて、生活の中に夢をもち始めた若者たちの姿にちょっと「いい話」を感じた私でした。
編集委員 瀬川恭子

「はなみずき会」会員の
個人情報の取扱について

西日本リビング新聞社が「はなみずき会」の皆さまからお預かりした個人情報は、当社が責任を持って管理します。皆さまの個人情報は、イベントや旅行の実施、弊社からの案内の送付等の目的にのみ使用します。当社では、ご本人の承諾のない限り、収集した個人情報を前述の目的以外に使用、または第三者に提供・開示することはありません。(個人情報保護管理者：竹内一平)

●個人情報保護に関するお問い合わせ/個人情報保護推進事務局 ☎092(733)6966(祝日を除く月曜～金曜、午前9時30分～午後5時30分)